

牧羊ひろば



伊那福音教会・アワナクラブ

はじめに

伊那福音教会のある伊那市は長野県の南部にあり、南アルプスと中央アルプスに抱かれ、市の中央部を天竜川と三峰川が流れる自然の豊かな都市です。近年隣りの高遠町と合併、人口は七万二千人になりました。教会は都市開発の進む市の東側にあり、近くに小学校や中学校があります。

一九七七年、前身の伊那伝道所が建てられて三十三年が経ち、教会学校の働きもずっと続けられています。現在、幼少科は「アワナクラブ」、中高科は「ティーンズクラブ」としてそれぞれその働きを進めています。小さい時、教会学校の生徒であった兄弟姉妹が現在CS教師やヘルパーとなつて奉仕して頂いていることはとてもうれしいことです。又、主は韓国からも若いご夫妻を送つてくださつて働きに加えてくださいました。現在、十名の教師・ヘルパーがアワナクラブの奉仕に当たっています。イベント等に参加してくれるお友だちは六十名くらい、その内、毎週のアワナクラブに出席するお友だちは八から十五名くらいで、

その時の様々な状況の変化によって増減します。

毎週の教会学校

① 日曜日のアワナクラブ

CS教師は午前九時十分からの一部礼拝に出席、午前十時三十分からの二部礼拝に合せてアワナクラブがスタートです。プログラムの内容は次のとおりです

○ プレーイングタイム

旧会堂を改修したホールで約三十分間ゲームと賛美の時間です。

・ ゲーム

約二十分間みんなが飛び回るゲームです。内容は変化しますが、種類は十数種類、段々に試行錯誤で増えてきました。用具も手作りで準備されています。

お正月、クリスマスは特別メニューがあります。個人別にポイントを付け、後でキャンディをあげています。

・ 賛美

ホールの壁に模造紙に書かれた賛美が隙間無く十数曲貼られています。その日の感じで



プレーイングタイム(さんび・お祈り)



プレーイングタイム(ゲーム)



おともだちの礼拝

それでも騒がしかったり、お話を聞いてくれない時もある。主に助けを求めるばかりです。他の教師も心を合せ、お友だちを助けて一緒に礼拝を捧げます。み言葉の暗唱を色々な方法を工夫しながら繰り返し行っています。

お友だちの気持ちに合せて奏樂の先生がメドレーで弾いていきます。お友だちは思い思いの場所で賛美します。中には小さいお友だちはホール中転げまわって踊っている事もあります。五曲くらいさんびしたら、お祈りと主の祈りを捧げてプレーイングタイム終了です。

○ 礼拝

・ 全員の礼拝

多目的ホールに移動して礼拝を捧げます。土曜日に腰掛やパネル等礼拝の準備をします。お話は八名の先生が分担していますが、「牧羊者」を頂くとすぐにお話をする先生と司会の先生の奉仕分担表を作り渡します。そこから担当の先生方の準備が始まります。お話の時間は約二十分、フラッシュカードを用いたり、独自に色々工夫して、少しでも言葉が心に残ってくれるように努めています。司会の先生はその日の賛美を選び、お友だちの目と心がお話の先生に集中するよう祈ります。

一ヶ月分のみ言葉はシートにして月の初めにお友だちに渡しています。

・分級

幼稚科と下級(一〜三年生)、上級(四〜六年生)に分かれています。内容は、幼稚科はみ言葉暗唱、祈りとワークの工作が中心、下級・上級はみ言葉暗唱・ワークとみ言葉の適応を目指した日常生活についての話し合いとアドバイスが中心です。教師がみ言葉に聴き従っているか問われる時でもあります。二部の礼拝に合わせて会堂に入り、一緒に祝祷をいただいております。

② ティーンズクラブ

中高生の為のクラスです。毎週土曜日の午後四時から賛美とみ言葉の分かち合い、それに交わりを重視し、若い担当の先生や、時には牧師先生からアドバイスも頂きます。ティータームがあり、皆でクレープなど作ったりします。救われる若い人が起こされるよう教会員全員の祈りです。

アワナクラブ年間の行事

なんとかイエス様につながつてほしいと願って色々な行事を行っています。

・春の「わくわくアワナ」

大体四月に新生・新入園児歓迎のゲーム大会を開きます。小学校の校門外でお知らせを配り、前に来たことのあるお友だちには、合せてお知らせを郵送します。今年は年末からのインフルエンザの関係で一月に出来なかった「たこ焼き大会」と、ゲーム・聖書の紙芝居がなされ、五十名前後



「春のハイキング」紙フト

のお友だちが参加してくれました。「たこ焼き」はもうすっかり教会の定番になっているので、大勢の教会員の応援を頂き、盛り上がりつつあったのしい時となりました。

・春のハイキング
例年五月の終わりの頃の日曜日、教会員全員参加の野外礼拝をおこなっていました。今年



春の「わくわくアワナ」たこ焼き大会

今年七月末から八月のはじめ、短い信州の夏休みの初めに、二泊三日で「青少年自然の家」をお借りして行っています。

・サマーキャンプ
今年七月末から八月のはじめ、短い信州の夏休みの初めに、二泊三日で「青少年自然の家」をお借りして行っています。



サマーキャンプ(やかんカーリング)

今年七月末から八月のはじめ、短い信州の夏休みの初めに、二泊三日で「青少年自然の家」をお借りして行っています。

・サマーキャンプ
今年七月末から八月のはじめ、短い信州の夏休みの初めに、二泊三日で「青少年自然の家」をお借りして行っています。



サマーキャンプ(水遊び)

今年七月末から八月のはじめ、短い信州の夏休みの初めに、二泊三日で「青少年自然の家」をお借りして行っています。

・サマーキャンプ
今年七月末から八月のはじめ、短い信州の夏休みの初めに、二泊三日で「青少年自然の家」をお借りして行っています。



サマーキャンプ(集会Ⅱ)

午後は小川で教師が先頭で水遊び、今年の目玉「やかんカーリング」で大歓声をあげ、夜の「集会Ⅱ」では教員ご夫妻の手工品に大喜び、伊藤先生の聖書のお話に心を開き、後のお友だち一人ひとりと教師との祈りの時間にも、イエス様がお友だちの心に届いてくださったことを感謝しました。

最終日、ペンダント作りと「集会Ⅲ・閉会礼拝」が持たれ、水野先生のお話に導かれ、全員で大きな輪なつて手をつなぎ、繰り返し一緒に賛美して祝福を頂き帰途につきました。この中からきつとイエス様が新しいお友だちも加えてくださると思います。

・ 振起日早起きアワナ

例年、すこし早い時間に集まってゲームと礼拝の時間を持ちますが、今年は教師が一部礼拝を捧げた後、野外センターで礼拝とさんびそしてゲームの時を持ちました。



お友だちのクリスマス(バルの練習)

時期的にお友だちの数は少なかったですが、サマーキャンプに来てくれたお友だち、前から祈っていたお友だちもお母さんと一緒に参加してくれました。主に感謝です。

・ お友だちのクリスマス

十二月の第二土曜日の午後がお友だちのクリスマスです。全体で二時間半くらいですが、最初の一時間は会堂でクリスマス礼拝、後半は多目的ホールで祝会です。昨年



お友だちのクリスマス(人形劇)

は礼拝の中で人形劇を映像化して好評でした。サマーキャンプからお友だち全員で人形作りを始め、それに更に手を加え、聖誕劇の登場人物に仕上げ、背景、音楽・シナリオを用意してビデオ撮影まで、お友だちも結構協力してくれました。祝会では会場の都合であまり動きのあるゲームはできないのでその場でできるゲームを考えました。特に映像を使ったゲームが人気でした。約六十名弱のお友だちが来てくれました。

・ わくわくアワナたこ焼き大会

新年一月の第四日曜日が例年たこ焼き大会です。今年は冒頭で触れましたように四月に行いました。真つ赤な横断幕や専用前掛けも用意して盛り上げています。

教師会・研修会

毎月第二聖日は教師会です。二年に一回程度、教会として講師の先生をお願いして研修会を持っています。お友だちの心にイエス様が届いてくださるように、その事だけをただ主に願い、教師が互いに助け合って働きが継続されるように祈っています。いつも支えてくださる教会員の皆様のお祈り・協力に本当に感謝です。(文責 赤沼 洋)

「おわりに」

『牧羊者』二〇一〇年度第Ⅳ巻をお届けできませんことを感謝します。執筆の方々には、残暑厳しい折から秋の諸行事のあわただしい中、貴重な時間を割いて執筆していただき、心から感謝いたします。今回は、教師養成講座として前号に引き続き、「牧羊者の用い方：メッセージ準備のために」の後半(その2)を掲載しました。また、「牧羊ひろば」では、伊那福音教会のアワナクラブを用いての教会学校の歩みを紹介していただきました。

終わりに今号の執筆者、奉仕者を紹介いたします。

聖書講解 鎌野善三師 水川武志師 福井文彦師

研究資料 高橋頼男師 金井信生師 中島啓一師

メッセージ例 飯田勝彦師 和田 治師 水野晶子師

ワーク(A) 松浦みち子師

(B) 吉田美穂師 鎌野 幸師

(C) 野勢かほる師 竹崎光則師

(D) 小泉 創師 田代美雪師

上森恭子師 杉山俊一師

石田高保師

中高校へのヒント 小野淳子師 藤井洋美師

子ども聖書日課 フラッシュカード 伊中めぐみ姉

イラスト 楠 淳子師 長尾明美師 加藤 清師

ワープロ打ち込み 長田栄一師 光田隆代師

校正 長尾秀紀師 長尾明美師

また、陰で労してくださった各師と兄弟姉妹、ワーク印刷と発送のベラカ出版、印刷のあくとと菱三印刷に心から感謝いたします。(長尾秀紀)

聖書教育教案誌 牧羊者

二〇一〇年度Ⅳ巻

二〇一〇年十二月一日発行

発行所 有限会社 ベラカ出版

企画監修 日本イエス・キリスト教団教会学校局

神戸市兵庫区塚本通三三一九

電話(〇七八)五七五二一五五

FAX(〇七八)五七五二一六六

印刷所 菱三印刷株式会社

電話(〇七八)五七六三九六一

*日本聖書協会『口語訳聖書』使用許諾済み